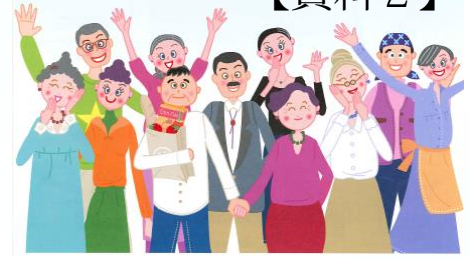


人生100歳時代の  
設計図を考える

第1回かながわ人生100歳時代ネットワーク会議



# 【第2部会】 2019活動計画・報告 生涯現役マルチライフ推進プロジェクト

Gerontology  
**Gerontology**

2019年11月1日

第2部会：前田展弘

(ニッセイ基礎研究所／東京大学高齢社会総合研究機構)



# 1. これまでの経緯 (2017-18)

## 1. WG2 検討経緯 (取組方向・テーマ)

2017

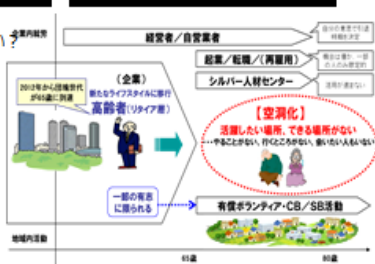


人生100歳時代のロールモデルの不在⇒ 人生100歳の生き方、働き方、活躍の仕方？

### 若者の将来不安～生き抜く方策？

- ✓ 人生100年…全く想像できない？
- ✓ 仕事に対する考えは多様化  
1つの仕事だけに捉われていない  
複数の名刺、副業も  
早期退職が多い、やりがい重視  
会社に縛られていない
- ✓ 貢献したいが、自信がない  
意見のぶつけ合いは少ない  
チャレンジ意欲は低い？

### セカンドライフの空洞化問題



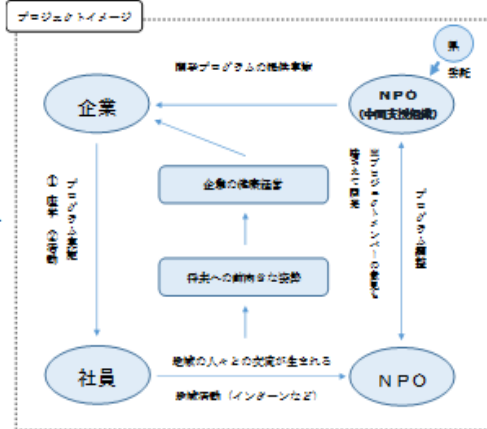
2018

## 「生涯現役マルチライフ推進プロジェクト」(①全体イメージ)

**目的** 企業の社員が定年後のセカンドキャリアを具体的にイメージすることができる研修プログラムを実施し、現役世代からの社会参加促進を目指す。

### 概要

- ✓ 県がNPOに業務委託し研修プログラムを開発し企業で実施
- ✓ プログラムの内容は、座学とボランティアやNPO活動等の体験やインターンを盛り込む予定（プロジェクトメンバーの意見も踏まえて）
- ✓ 参加者は希望制で募集
- ✓ 実施前と後にアンケート調査を行い、意識変化を確認



※神奈川県庁作成資料

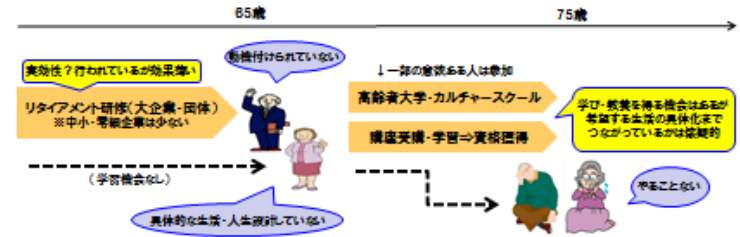


### セカンドライフの空洞化問題

## 後半人生ライフデザイン研修のあり方の検討

### 「定年予備校(仮称)」創設に向けて

※2014年度@東京大学産学連携研究グループ内検討資料をもとに



## 3. 2018年度活動概要

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議					9/3						3/15
第2PJ					9/27						
県委託事業	企業探し⇒委託準備⇒委託手続				研修準備	企業研修等実施		企業履回り			

	全体説明会	活動団体 紹介セミナー	【体験】 ボランティア活動
①協力企業O社	10/30 (2回) 78名		- 6名
②協力企業A社	10/31,11/7 86名	11/28 15名	- 1名

# 1. これまでの経緯 (2017-18)

## 全体説明会



## 地域活動の体験



① みんなのサロン ゆくり庵  
(認N)藤沢市民活動推進機構

① 2名

① 初心者マージャン教室の支援  
高齢者の介護予防のため月3回実施  
している人気の講座です。マージャン  
が初めての方が対象です。  
経験のある方、良かったら一緒に楽し  
みませんか？  
(下記表参照)



② (N)海さくら

① 3名

江の島で楽しくゴミ拾い！  
毎月の海さくらゴミ拾いで募集に  
なります。  
「目指せ！日本一楽しいゴミ拾  
い！」です！  
継続参加すると、どんどん楽しくなる  
仕組みがあるユニークな団体で  
す。



③ 神奈川湘南卓球クラブ

② 1名

障がい者卓球のボランティア募集  
神奈川県内の障がい者が卓球を通じて  
活動しています。一緒に卓球をして  
障がい者のサポートをしたり、卓球台  
の準備・ボール拾い・片付けなどをお  
願います。  
年齢制限はありません。卓球の出来る  
服装で、体育館履き、飲み物を持参  
して下さい。あれば卓球のラケットも持参  
して下さい。



NPO café 認定NPO法人  
藤沢市民活動推進機構

① 1名

クリスマス会の運営ボランティア

## アンケート実施

① 今後の生活における 具体的なボランティアが 行われましたか？	② 今までに地域活動の ご経験があれば記載く ださい。					③ この講座を受けて地域活動 に参加したいと思うよう になりましたか？					④ マルチライフの充 実として、今後一歩 進みたいご体験は ありますか？					⑤ 「生涯現役 マルチライフ」確 立が目標です。 「について、意 義ある取り組み がありましたか？					性別		年齢																		
	経験 無し	自治 会・ PTA・ 地域の イベン ト参加	ボラン ティア 活動	5点	4点	3点	2点	1点	趣味	地域 活動	就業・ 起業	記載有り	男	女	40以下	40代	50代	60以上																							
3.3	-	2.9					-					3.8					60	16	16	19	30	9																			
46	23	7	26	3	11	5	30	35	8	11	5													地域																	
												なかった						一歩ならない						藤沢	鎌倉	茅ヶ崎	横浜・ 川崎	県内	県外												
												29						11						35						31	0	6	9	23	5						
																								藤沢市近傍						その他県内						県外					
																								37						32						5					

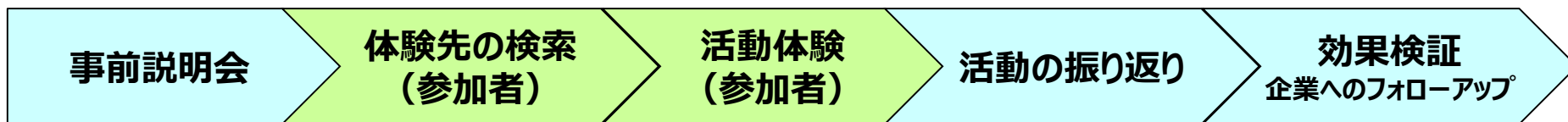
## 2. 2019年度計画&報告

県委託事業

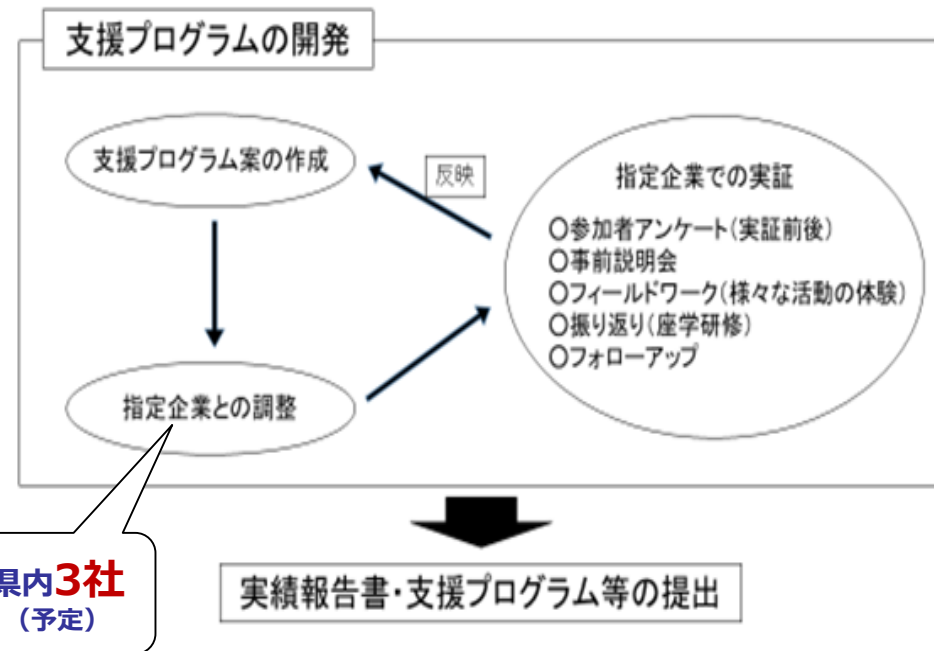
### 「生涯現役マルチライフ推進」支援プログラム開発

個人が企業で働いている現役世代の間から、前向きに生き生きと地域社会の中で活動できるよう、様々な人生設計について考える「きっかけ」を与えることを目的とした新たな「研修プログラム」を開発し、実施する。

#### <支援プログラムの構成（実施フロー）>



<https://jp.techcrunch.com/2019/02/07/peatix-jtb/>





# 3. 残された検討課題

人生100歳時代

「生涯現役マルチライフ」実現に向けた議論は加速！

【生涯現役】・・・「職業寿命」「社会活動寿命」「健康寿命」「資産寿命」を如何に延ばせていけるか！（概念は拡大）



「人生100歳時代構想会議」の目的と主要テーマ  
平成29年9月11日  
人生100歳時代構想推進室

- ◇日本は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている。海外の研究（リンダ・グラットン著書「ライフシフト」で引用されている研究）を元には、2007年に日本で生まれた子供については、107歳まで生きる確率が50%もある。この日本で、超長寿社会の新しいロールモデルを構築する取組を始めたい。
- ◇こうした超長寿社会において、人々がどのように活力をもって時代を生き抜いていくか、そのための経済・社会システムはどうあるべきなのか。それこそが、「人づくり」の要諦。
- ◇こうした社会システムを実現するため、政府が今後4年間にわたって実施するべき重要な政策は何か。これを「人生100歳時代構想会議」で議論する。

- 人生100歳時代構想会議の議論の方向性
- ① 全ての人に開かれた教育機会の確保、負担軽減、フレックシブル教育
  - ② これらの課題に対応した高等教育改革\*  
※大学にしても、これまでの若い学生を対象にしたものではないか。
  - ③ 新卒一括採用だけでなく企業の人材採用の多様化  
※これが有能な人材確保のカギであり、企業にしてもこれまでの新卒一括採用だけではやっていけない。

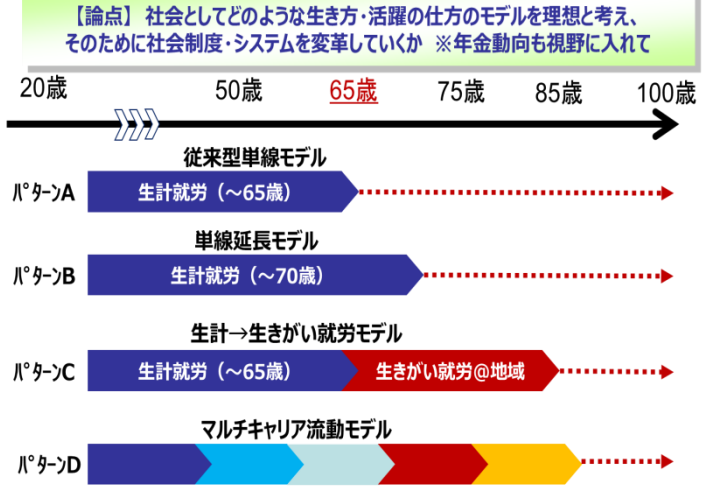
**3ステージ⇒マルチステージの人生へ**  
3年以内に中間報告をとりまとめ、政策パッケージも盛り込んだ基本構想を、来年前半には打ち出す。

### 年金将来不安根強く 老後200万円金融庁撤回へ

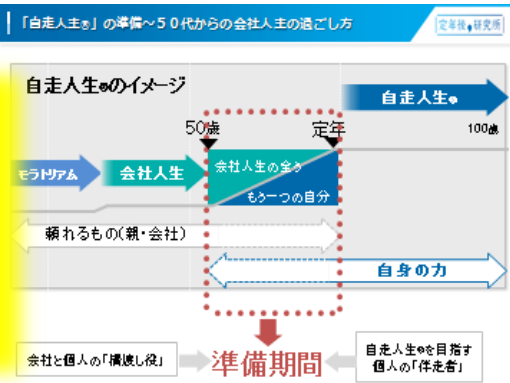
金融庁がまとめた報告書を通る経緯

- 5月22日 金融審議会が報告書を発表し、老後に200万円が必要との試算を提示。公的年金については「中長期的に実質的な低下が見込まれている」と表記
- 6月3日 批判を受けて書きおろしを修正した上で報告書を取り、金融庁が「今後調整されていくことが見込まれている」と修正
- 7日 厚生労働大臣が「あともう少しになるような表現は不適切だった」と説明
- 10日 安倍首相が「不正確であり誤解を生かせるものだった」と批判。野党が協議
- 11日 厚生労働大臣が「正式な報告書として受け取らない」と表明。事実上の撤回へ

金融庁は、従来の「公的年金は老後の生活費の約3割を賄う」という前提を撤回し、老後の生活費の約5割を賄う必要があると試算。また、公的年金の給付額は、2040年には現在の約7割に低下すると試算している。



■ 「定年予備校」コンセプトの具体化・実装化  
■ 「セカンド小学校構想（仮称：第2義務教育・社会参加支援策）」など  
**マルチライフ実現を支える仕組み・事業の考案及び社会実装**



## 1. 目的

人生100歳時代においては、50歳からの後半人生を如何に充実させることができるか、一人ひとりの人生の質を左右する重要な課題である。書籍「ライフシフト」の中でも指摘されているように、人生100歳時代の人生は、「教育⇒仕事⇒引退」という単一的な3ステージモデルではなく、複数のキャリアを積み重ねられる「マルチステージモデル」が理想である。そのためには、マルチステージの選択肢を知ると同時にチャレンジする方法をより具体的に知る（体感する）ことが求められる。しかしながら、そのようなキャリアパス支援を行う社会教育、企業内研修は見当たらない。そこで本プロジェクトでは、多くの人が人生100歳時代において本人が望む「マルチステージ」を実現できるような新たな研修事業を構築することを目的とする。

## 2. 実施対象及び受講者対象

### (1) 本プロジェクトの趣旨に賛同する**特定企業**（一定の従業員規模のある**大企業**を想定）

- ✓ 福利厚生あるいは健康経営の一環として、従来の企業ない研修（ライフプラン研修を変更）を見直す形で実施
- ✓ 受講対象者は50～64歳
- ✓ 費用は企業負担

### (2) 本プロジェクトの趣旨に賛同する**自治体**（**住民及び中小零細企業**の従業員をカバー）

- ✓ 特定のエリアごとに参加者を募集する形で実施
- ✓ 受講対象者は50～64歳
- ✓ 費用は参加者負担（自治体から補助が出せればbetter）

## 3. 内容・特徴

### (1) 座学 (10時間)

- ①総論 : 人生100歳時代と後半人生
- ②基礎知識 : セカンドライフに必要な基礎情報
- ③マルチステージの選択肢  
※どれだけの選択肢があるのか可視化

↓

### (2) 演習 (2時間)

- ④自己棚卸し : 自分の能力・価値とニーズを再確認
- ⑤ワークショップ : グループワークで気づきあう

↓

### (3) マルチステージコース別キャリア移行研修

コース別の研修 (座学)、スキル養成、インターン、見学など

地域密着型！

- 定年予備校の最大の特徴は、「マルチステージ」の選択肢を知れること、またそのステージに移行するために必要なノウハウやスキルを体験できることにある。
- マルチステージは、「起業する」、「自宅で働く」、「NPOや社団を立ち上げる」、「協同労働に参加する」、「海外で活動する」といった“働き方”に関すること、
- 「農業を始めたい」、「介護の仕事をしたい」、「子育て関係 (学童保育含む) に携わりたい」、「観光ガイドになりたい」、「若手経営者の経営支援をしたい」、「英語を活かしたい」、「WEB関係で何かしたい」など、ジャンル別の新たにチャレンジしたいニーズから、ステージが極めて多様になる。
- これらを整理・可視化すること、そしてそのステージへの円滑な移行方法を築くことが必要であり、それがコアコンピテンスになる。



# Gerontology Gerontology



2019年11月1日

第2部会：前田展弘

(ニッセイ基礎研究所／東京大学高齢社会総合研究機構)